

仙台市役所経営プラン（令和4年度～令和8年度）令和4年度実績報告概要

本プランは、令和4年度から令和8年度までを計画期間として、仙台のまちづくりの指針である仙台市基本計画の実現に向けて、仙台市実施計画や各分野の計画を推進する基盤となる計画として策定したものです。

「挑戦と進化を続ける市役所をつくる」を経営理念とし、仙台市役所の目指す姿として以下の5つを掲げるとともに、その実現のための5つの実施の方向性を定め、様々な取組み（実施項目）を推進しています。計画1年目となる令和4年度の主な実績をまとめました。

なお、各実施項目における取組みの状況の詳細については、別冊「仙台市役所経営プラン（令和4年度～令和8年度）進捗管理シート」に掲載しています。

目指す姿	実施の方向性
未来世代に責任ある財政運営	(1) 歳入を増やす
想定外の危機をしなやかに乗り越える組織	(2) 歳出を見直す
デジタル化によるサービスと組織のアップデート	(3) 業務改革を推進する
協働による新たな価値の創発	(4) 協働を推進する
働く場として選ばれる組織	(5) 組織変革を推進する

1 令和4年度効果額実績

計画期間における効果見込額：122億円（内訳：歳入増96億円、歳出減26億円）

	実施項目	算出方法	R4効果額
歳入	市税の収入確保	各年度の調定額×（各年度の総括収納率－令和2年度総括収納率）	15.9億円
	企業版ふるさと納税制度の活用	寄附額－PR経費	3.9億円
	市有地等市有財産の処分と有効活用の推進	一般土地売払金の実績値	3.9億円
	ふるさと納税制度の活用	個人寄附額－事業費	2.8億円
	国民健康保険料の収入確保	各年度の調定額×（各年度の総括収納率－令和2年度総括収納率）	2.5億円
	その他の取組みの推進		1.1億円
			歳入計
歳出	消防車両整備計画に係る費用の見直し	消防車両整備計画見直し前の費用－消防車両整備計画見直し後の費用	4.6億円
	高額療養費支給事務・第三者行為求償事務の民間委託による業務体制の効率化	人件費削減額－委託費等の諸経費	0.1億円
	石積埋立管理事務所の運営管理業務体制の見直し	人件費削減額－委託費等の諸経費	0.1億円
	市有施設の購入電力量削減の取組みの推進	削減購入電力量（各年度の購入電力量－令和2年度購入電力量）×電力単価	△0.6億円
	その他の取組みの推進		0.1億円
			歳出計
		合計	34.4億円

備考：小数点第2位以下は四捨五入

2 実施項目の取組状況

実施の方向性	実施項目数	評価			達成率 (%)
		◎	○	△	
(1) 歳入を増やす	14	3	8	3	78.6%
(2) 歳出を見直す	18	0	14	4	77.8%
(3) 業務改革を推進する	41	5	30	6	85.4%
(4) 協働を推進する	21	2	15	4	81.0%
(5) 組織変革を推進する	21	3	16	2	90.5%
合計（再掲除く）	115	13	83	19	83.5%

評価

◎…目標を上回った・計画より進んでいる
 ○…目標通り・計画通り進んでいる
 △…目標を下回った・計画より遅れている

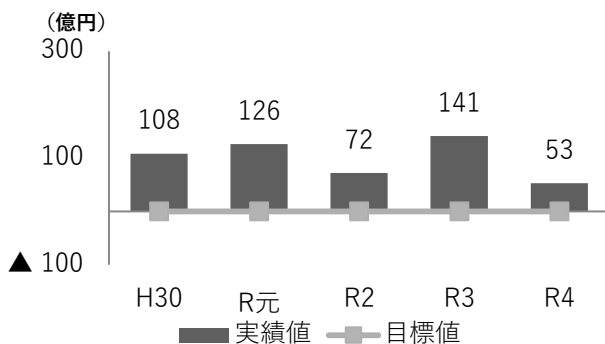
※達成率→全体に占める◎と○の合計の割合

評価ごとの主な実施項目

評価	実施の方向性	実施項目	進捗管理シート 掲載ページ
◎	(1)	②-04 企業版ふるさと納税制度の活用	20 p
	(3)	①-03 収納率向上に向けたICTの積極的導入	46 p
	(4)	①-04 若者が活躍するまちづくりの推進	90 p
	(5)	②-06 Web会議システムの運用	120 p
△	(1)	①-05 保育料の収入確保	14 p
	(2)	②-07 アセットマネジメントに基づく下水道施設の長寿命化及び更新	36 p
	(3)	①-08 ご遺族サポート窓口の設置	51 p
	(4)	①-08 市民協働事業提案制度の実施	94 p
	(5)	②-03 子育て支援の取組みの促進	117 p

3 主な経営指標の実績

基礎的財政収支（プライマリーバランス）

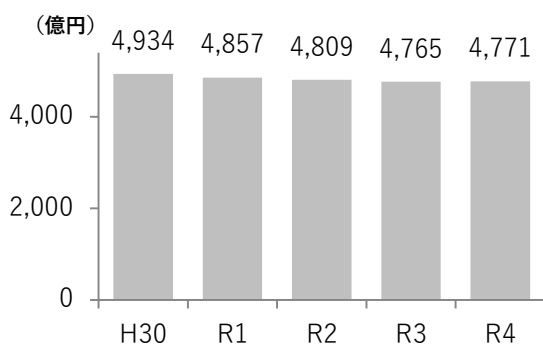


目標：決算で収支均衡・黒字の確保
 →R4決算において黒字を確保

※基礎的財政収支

公債の利払い費や償還額等を除いた歳出と、公債発行収入等を除いた歳入のバランスをみる指標。

市債（通常債）残高



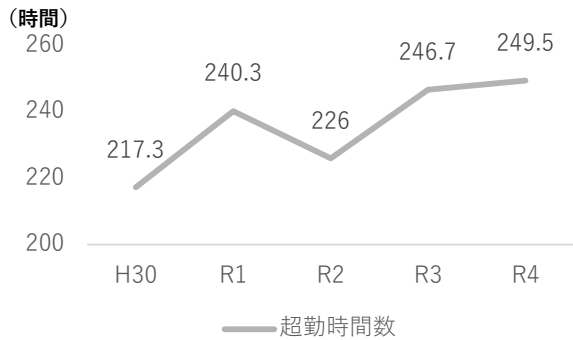
目標：年度末残高の適切な管理

→前年度より微増だが、基準値（R2決算）より38億円縮減

※通常債

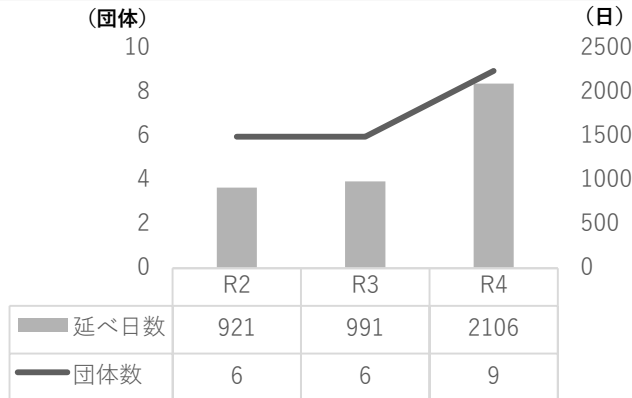
市債のうち、臨時財政対策債（本来、国が交付すべき地方交付税の不足分を補うために発行する市債であり、後年度に返済のための財源が国から手当てされる。）など特別な市債を除いたもの。

職員 1人当たりの年間平均超過勤務時間数



目標：前年度未満
 →前年度より平均2.8時間増加

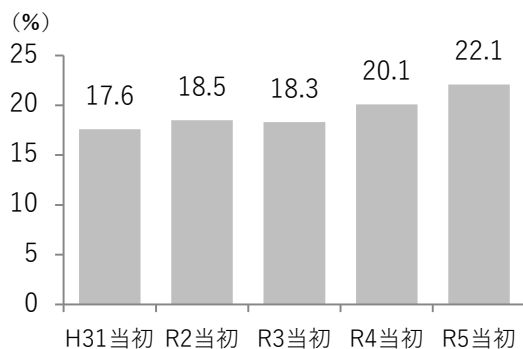
公共空間を利活用する団体の数 (延べ日数)



目標：8団体(1,400日)(令和8年度)
 →前年度より3団体増加し、延べ日数は2倍以上増加

※公民連携等の手法により、道路・公園等の公共空間を活用して地域のまちづくり活動を行っている団体の数を集計

管理職に占める女性の割合 (市長部局)



目標：25.0%以上 (令和7年度当初)
 →前年度より2%上昇

4 総括

令和4年度においては、115ある実施項目のうち、96(83.5%)の項目について目標通り又は目標を上回る進捗となりました。

効果額については、市税の収入確保において15.9億円、企業版ふるさと納税制度の活用により3.9億円の歳入増加が見られたことなどが寄与し、計画を上回る成果がありました。また、本市の財政や組織運営の現状を表す経営指標については、概ね目標に向けて順調な推移が見られる一方、職員1人当たりの年間平均超過勤務時間数が前年度に比べて増加するなど、より一層、事務事業の見直しなどによる業務効率化に取り組んでいく必要があります。

本実績報告に併せて、実施項目について新たな取組みの追加や修正等を行いました。今後も、仙台市役所経営プラン(令和4年度～令和8年度)のもと、社会経済情勢の変化等も踏まえながら、本市の各般の施策を下支えする様々な取組みを推進してまいります。